



祝 東播磨高等学校 第93回 選抜高等学校野球大会出場決定!!

1月29日(金)に第93回選抜高等学校野球大会の出場校を決める選考委員会が開催され、21世紀枠で町内唯一の高校である兵庫県立東播磨高等学校が選出されました。春夏を通じて初の甲子園出場となります。



出場校発表当日、選考委員会本部からの電話連絡を待つ吉田校長先生の周りには、たくさんの報道陣が集まり、緊張感が漂う中、発表の時を待ちました。午後3時半すぎ、張りつめた空気を裂くように、部屋に電話の音が鳴り響き、受話器をとった吉田校長先生は、甲子園出場決定の知らせを受けて、「ありがたくお受けします。」と頭をさげました。その後、野球部員の待つグラウンドへ急いで移動し、校長先生から野球部員へ「選抜大会の21世紀枠に選ばれました。野球の技術はもちろん、人としてより一層成長して甲子園に行きましょう。」と吉報が伝えられました。校長先生の言葉を聞いた野球部員からは、大きな拍手が沸き起こり、笑顔でガッツポーズをするなど初の甲子園出場決定を喜びました。

同時に、校内には第93回選抜高等学校野球大会の入場行進曲「パプリカ」(Foorin)が流れ、甲子園出場決定が全校生徒に知らされました。曲が流れた瞬間、生徒から大きな歓声と拍手が沸き起こり、学校全体で野球部の甲子園出場決定の歓喜を分かち合いました。



▲たくさんの報道陣が見守る中、電話連絡を受ける吉田校長先生



◀出場決定を喜び選手たち



出場決定後の記者会見の様子▶
(左から、福村監督、主将 原正宗(2年)選手、投手 鈴木悠仁(2年)選手)



▲甲子園出場に向け、更に練習に力が入る部員



野球部員の皆さん

東播磨高等学校野球部は、昨年の秋の県大会で過去最高の準優勝に輝き、近畿大会に初出場しました。新型コロナウイルス感染症の拡大で思うように部活動ができない中、SNSを使ったオンライン指導を実施するなど工夫を凝らして日々練習に取り組んできました。同校では、演劇部や放送部でも野球部を題材にした作品をつくり、全国大会で優勝するなど文化部の活動も盛んです。今回、このような学校全体の取り組みが評価され、戦力以外の特色を加味する「21世紀枠」で、初の甲子園出場の切符をつかみました。吉田校長先生は「野球部だけでなく、学校全体の取り組みが認められ、甲子園の出場につながったことはとても嬉しい。」と笑顔で話されました。



主将 原正宗選手(2年)

小さい頃からの夢であった甲子園に立つことができ、とても嬉しいです。今回の甲子園出場は、僕たち選手だけの力ではなく、監督、コーチ、先生方、保護者、OB、学校の友達、たくさんの皆さんのご協力があったからです。甲子園の舞台で全力で野球をする姿、また試合に勝ち校歌を歌うことで恩返しします。ひがはり生全員で「ステップアップひがはり」をモットーに成長していきます。「ひがはり」を全国に轟かせてきます。

【稲美町出身 野球部員】

玉田廣明選手(2年)



私たちは「一球の重み」を大切にしながら、プレーの質を高め、試合で勝てるように部員同士切磋琢磨して日々の練習に取り組んでいます。この大会を通じて自分達がかっこよく成長できるように、より一層力を入れて練習に取り組んでいくので、これからも応援よろしくお願いします。

井上陽斗選手(2年)



目標である「甲子園一勝」が実現できる舞台に立てることに大きな喜びを感じています。選ばれたことでチーム全体の練習に対する気持ちの入り方が以前よりも強くなっています。甲子園では日頃からお世話になっている皆さんに感謝し、チーム全体の目標である「甲子園一勝」を達成したいと思います。

砂川天斗選手(1年)



選抜大会に向けて、守備の確実性を上げるためにノックを何本も受け、力負けないようにスイング量を増やし、チームの持ち味である走塁は、細かなところまでこだわりながら練習しています。今まで支えてくださった皆さんに感謝し、思う存分自分のプレーをして、みんなで一勝できるように本番まで必死になって頑張っていこうと思います。

野球部をサポートしているマネージャー

選手が朝早くから自主練をしている姿、時間を無駄にしないようにキビキビと動き努力している姿を見て、私たちが最高のサポートをしようと思います。選手には、今まで苦しい練習を乗り越えてきた自分を信じ、甲子園の舞台で輝いて欲しいです。



高校球児の夢の舞台「甲子園」の土を踏む東播磨高等学校野球部の皆さん、チーム一丸となって戦い抜いてください！皆さんの「ひがはり旋風」を稲美町だけでなく、地元東播磨が期待しています！！

福村監督



この度、21世紀枠の推薦校として「甲子園」出場を果たすことができました。これも皆様からの応援のおかげだと思っております。新型コロナウイルス感染症対策をした制限のかかる大会となりますが、日頃、稲美町の地で培った「ひがはり野球」を「甲子園」の舞台上、生徒たちの力を無制限に「全集中」で出し切らせたいと考えています。生徒たちには、皆様の応援が力になります。応援を力に変えて、皆様に喜びの歌声を届けます。是非ともご声援の程よろしくお願いいたします。

特集
健康
福祉
子育て
お知らせ
こすもす
インフォメーション
まちのわだい
文化の森